

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称 平成28年度第1回美里町政策推進・評価委員会
- 2 開催日時 平成28年6月27日(月)15時00分から16時30分まで
- 3 開催場所 宮城大学大和キャンパス 401会議室
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員
徳永幸之委員 高力美由紀委員 大塚真理子委員 佐々木秀之委員
 - (2) 事務局
企画財政課 課長 佐々木義則 課長補佐 小野英樹 係長 尾形賢太
 - (3) 説明員
まちづくり推進課長 高橋章一 防災管財課長 櫻井英治
産業振興課長 佐藤淳一 健康福祉課長 青木正男
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
議題
議事録署名人及び書記について
これまでの取組と政策評価の取組概要等について
地方創生先行型交付金活用事業の評価について
次回会議の開催について
その他

会議の公開・非公開の別
公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の人数
0人
- 8 会議資料
別紙のとおり

9 会議の概要

(1) 委嘱状の交付

(2) 町長から諮問

政策・施策形成過程における事務事業の有効性の評価及び地方創生先行型交付金を活用した事業について貴会の意見を求めます。

(3) 議事録署名人及び書記について

全体会議は議長署名、個別会議は担当委員署名、書記は事務局とする。

(4) これまでの取組と政策評価の取組概要等について

美里町における政策評価について、これまでの経緯、概要、今年度の取組について説明し、今後の会議の開催方法については、個別の施策について協議する個別会議、総括する全体会議の2つの会議開催方式により9月末を目途に、委員会として答申することとした。

施策分担は、資料5の評価対象施策等の調整についてのとおり。

(5) 地方創生先行型交付金活用事業の評価について

地方創生先行型交付金を活用した事業について、当委員会で評価するに当たって、各事業担当課長から事業の概要等の説明を行い、必要に応じて次回個別会議を開催し、是7月の全体会議で総括することとした。

施策分担は、資料5の評価対象施策等の調整についてのとおり。

(6) 次回会議の開催について

平成28年7月26日(火)午前9時から午前10時まで 会場 宮城大学

(7) 意見の詳細

別紙のとおり

【午後3時00分 開会】

<p>事務局 (佐々木課長)</p>	<p>本日は御多忙のところ、御参会いただきまして誠にありがとうございます。 本日、司会を務めさせていただきます美里町企画財政課長の佐々木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>開会に先立ちまして、委員皆様に町長より委嘱状の交付を行います。お名前を五十音順にお呼びしますので、その場にお立ちいただきたいと存じます。</p> <p>【委嘱状交付】</p> <p>それでは、ただ今より美里町政策推進・評価委員会を開会いたします。開会に当たりまして、美里町長相澤清一より皆様に御挨拶申し上げます。</p>
<p>相澤町長</p>	<p>【町長あいさつ】</p>
<p>事務局 (佐々木課長)</p>	<p>続きまして、委員の御紹介をいたします。</p> <p>【委員紹介】</p> <p>皆様どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ここで本日出席している本町の職員を紹介いたします。</p> <p>【職員紹介】</p> <p>続きまして、会長及び副会長の選任を行います。</p> <p>会長及び副会長が選任されるまで、暫時、相澤町長が仮座長として進行いたしますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>相澤町長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>相澤町長</p>	<p>それでは、会長及び副会長の選任を行います。会長及び副会長の選任につきましては、美里町政策推進・評価委員会条例第5条第1項の規定により、委員の互選によって定めるものとされております。</p> <p>互選とありますので、選任の方法から確認すべきところですが、よろしければ、委員の皆様から自薦又は他薦がありましたら、よろしくお願いいたします。</p> <p>前回の委員会では、同じく宮城大学の御協力をいただき、委員会を開催しておりますが、徳永先生に会長に就任いただいております。</p> <p>町といたしましては、前回会長を務められました徳永先生に今回も会長をお願いしたいと考えておりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>お諮りいたします。会長は徳永先生に決することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>ありがとうございます。それでは会長は徳永先生に決定いたします。</p> <p>次に副会長の選任です。</p> <p>同じく条例に委員の互選により定めることとなっておりますが、会長指名により副会長を選任する方法もあるかと思っておりますが、いかがいたしましょうか。</p>

	<p>会長指名ということで委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>それでは徳永会長、副会長の指名をお願いいたします。</p>
徳永会長	<p>私以外の3人の先生方は、初めての政策評価委員ということでございますが、高力先生が美里町の産業活性化拠点施設の件で関わりがあったということから、高力先生に副会長をお願いしたいと考えております。</p>
相澤町長	<p>ただいま、徳永会長から副会長に高力先生を御指名いただきました。</p> <p>お諮りいたします。副会長は高力先生に決することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>ありがとうございます。副会長は高力先生に決定いたしました。</p> <p>それでは徳永先生が会長、高力先生が副会長に選任されましたので、わたくしの仮座長はここまでとなります。ありがとうございました。</p>
事務局 (佐々木課長)	<p>それでは、町長より諮問を行います。</p>
相澤町長	<p>【諮問文書を読み上げ、会長へ手渡す】</p>
佐々木課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは協議に入ります。美里町政策推進・評価委員会条例第6条第1項の規定により、会議の議長は会長が務めることと定められております。徳永会長、早速ではございますが、議長に就任いただき議事の進行をお願いいたします。</p>
徳永会長	<p>会長に選任いただきましたので、議長として議事を進行していきたいと思っております。よろしくをお願いいたします。</p> <p>以前、美里町の総合計画・総合戦略策定に関わらせていただきましたが、その際、町民の方から個別の施策について、細かくチェックいただいたところでございます。その中で全体の大きな方針に向かって各施策が連携を取って、効果的にできているかという点、若干疑問という点、どうしても個別の施策をしっかりとやろうと思うと、どうしてもそこだけに目がいってしまうことがあります。施策間の連携がうまく取れていないのではないかと、あるいは、数値目標に縛られすぎて、本当に目指すべきところがきちんとできているのか問題になっていたのですが、その辺りも含めて評価委員会の中で御議論いただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは早速協議に入ります。</p> <p>はじめに、1番議事録の署名人及び会議録署名人の選任についてですが、書記は事務局をお願いいたします。会議録の署名人については、次の議事で委員会の運営について事務局から説明があるかと思いますが、開催形態によって異なると思います。事務局説明ありますか。</p>
事務局(尾)	<p>会議につきましては、次の議事で詳細にお話しいたしますが、委員皆様にお集まり</p>

形係長)	<p>いただく全体会と、本町の施策担当課とそれぞれの施策分野の先生に協議いただく個別会の2つの開催方法を検討しております。</p> <p>事務局といたしましては、全体会については議長署名、個別会については、それぞれの施策担当委員の先生方に会議録の署名人になっていただきたいと考えております。</p>
徳永会長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、会議録署名人は、全体会については議長署名、個別会については担当委員の先生が署名ということでよろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>それでは、本日の会議は全体会でありますので、議長である私が署名人となります。</p> <p>それでは、「(2)これまでの取組と政策評価の実施方法等について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局(尾形係長)	<p>【資料4、資料5に基づき説明】</p>
事務局(小野課長補佐)	<p>ただ今、尾形が経緯から一括してお話しいたしましたが、今回の政策評価委員会につきましては、町の総合計画の重点施策について、先生方に1つ又は2つの施策を御担当いただき、その関連施策も踏まえ御意見をいただきたいというのが一つ目です。もう一つは、次の議題でお話しさせていただきますが、地方創生先行型交付金を活用した事業について、美里町では4事業を実施しておりますが、その事業の評価につきましても今回お願いしたいと考えております。詳細につきましては、次の議題で事務局から御説明いたします。これまでの経緯、本委員会の運営、重点施策、関連施策の不明点や御意見ございましたら、御質問いただき審議をお願いしたいと思います。</p>
徳永会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今「これまでの取組と政策評価の実施方法等について」説明がありました。</p> <p>例えば、総合計画の55ページにある「高齢者が安心して安心して暮らすための対策」がありますが、「施策の目的」、「現状と課題」、「施策の展開」、「関連事業」、「施策の指標」がありますが、3番目の「施策の展開」が重要なところでございまして、それを「関連事業」で具体化するということになるのですが、それぞれが必ずしも対応しているという訳でもありません。非常に見づらいかと感じております。その点も含めて、町の考え方を聞いていただいた上で評価していくことになるかと考えています。指標、KPIについてですが、先ほどの説明の中でもKPIについて評価するという表現もございましたが、「施策の展開」あるいは「関連事業」に対して、1つか2つくらいしか指標が示されてないので、必ずしもこれで全てが計測できているという訳ではありません。そういったことも含めて、工夫いただきながら評価していくことになると思います。</p> <p>御質問等がございましたら、お願いします。</p>

高力委員	政策、施策評価ということですが、評価視点は、政策・施策形成過程における事務事業の有効性を評価するということによろしいのかと思いますが、K P Iに基づいて事務事業が有効に機能しているのかということを目として判断するということによろしいでしょうか。
事務局（小野課長補佐）	はい。そうです。
高力委員	ただ、徳永先生がおっしゃられたように、K P Iが必ずしも施策展開と関連事業に対応していないと。一番理想なのは「現状と課題」があって「施策の展開」、「関連事業」が対応し、K P Iがそれぞれあるというのが理想的なのですが、そのようにはなっていないので、事業の有効性を検証しつつ、その辺のストーリーを含めて何か意見があれば言っていくというイメージによろしいでしょうか。
事務局（小野課長補佐）	はい。そうです。「資料7 政策・施策形成に係る進行管理調書」をお目通しいただきたいのですが、先ほど徳永先生からお話がありましたとおり、本町の総合計画につきましては、軸が明確でないまま「現状と課題」、「施策の展開」が羅列されている感もありますので、この「施策形成に係る進行管理調書」では、「現状と課題」と「施策の展開」について改めて再整理したものになります。本来、施策課題は1つではないのかもしれませんが、それに対して「5 W 3 H」的な要素を含ませ、施策の再検証をした上で、「成功要因」を踏まえながら、K P I、施策の指標に対してどういう進行状況にあるのかというレイアウトとしております。また、K P Iと言いながら活動指標がそのまま施策の指標になっている状況もあります。ページをめくっていただくと、主要な指標を補足する意味で「 K P I、B Mの補足、事務事業検討に必要な統計資料等」という欄を設けております。こちらについて担当課において、施策指標に限らず、補足データを記載すると思っておりますので、先生方におかれましては、この調書の内容をから、関連性を確認いただき施策展開を確認いただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。
高力委員	分かりました。もう1点ですが、こういう評価において一番困るのが、数値に表れないところをどのように評価するかということなのですが、それも含みながら「有効性の検証」と考えてよろしいでしょうか。
事務局（小野課長補佐）	はい。そのようにお願いしたいと考えております。
高力委員	先ほど徳永先生がお話しされた高齢者の部分ですと、実績見込みが1つありますが、これ1つだけではプロセス評価はできないものが多いと思うので、その場合は数値に表れないところも、サマーレビュー等で書かれている内容を加味しながら、あるいは「5 W 3 H」を加味しながら総合的に評価するという考え方でよろしいでしょう

	か。
事務局（小野 課長 補佐）	はい、そうです。
徳永会長	進行管理調書が各課から出てこないイメージが浮かばないと思いますが、資料7の様式は、以前と比較すると相当バージョンアップしているようです。意欲的に変えていただいていると思います。どのような内容で出てくるか楽しみではあります。
事務局（小野 課長 補佐）	事務局といたしましては反省点もございまして、計画策定前に検証できればよかったのですが、総合計画に記載できなかったものや、整理付けできなかった部分につきましては、この調書で施策展開等について、きちんとした視点整理をしたいと考えております。
大塚委員	例えば、評価対象施策である「高齢者が安心して暮らすための対策」や「地域で支え合う社会の充実」について、関連施策として「健やかな母子保健活動の推進」と「救急医療体制・広域医療体制の整備と充実」が挙げられていますが、そのほかにも、例えば、「施策11の生活習慣病に関する施策」も関連してきます。医療と福祉、保健という分野について、広く関連する施策が考えられますので、そういった部分の資料についても反映させて総合的に評価する必要があると思いますが、評価に当たっては、そのような視点の資料についても参考にするということでもよろしいですか。
徳永会長	当然、ほかの施策との関連も出てくると思います。実はその部分が行政の中では一番弱いところでありまして、事業で区切っていきますと事業ごとに担当が決まっています、その中だけで考えていくという形になってしまいます。 高齢者の施策については、高齢者になる前の施策も重要になってきますので、関連性がある施策について、視点を向けていただいた方がより効果的だと思います。今回は、とりあえず重点になる施策を決めて、それを中心に評価を依頼されておりますが、今お話があったように、関連する部分は広がっていくと思います。ただ、それを全てやるとなると負担が大きくなりますので、事務局、担当課と相談いただきながら、どこまで参考にして評価していくかという部分も含めて協議いただく必要があると思います。
大塚委員	一つひとつの事業を評価しながら、さらに横断的に評価するということですね。
徳永会長	歯車が1個1個きちんと回っているという評価もありますが、それが他ときっちり噛み合っているかどうかを見る必要があります。それが全体目標の大きな歯車に連動しているのか、正しい方向に回っているのかという視点でチェックする必要がありますが、そのような視点での評価はなかなか難しいところがあり、個別の単独の歯車がきちんと回っているのかどうかという評価になりがちです。先ほどお話があったような視点で関連性についても、指摘できるところは指摘いただければ、より良い評価になると思います。この視点から評価すると、担当課が複数になるということ

	<p>が考えられますので、その調整については、企画財政課で調整いただくことになると思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>それでは、よろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>続きまして、「(3) 地方創生先行型交付金活用事業の評価について」事務局説明願います。</p>
事務局（小野 課長 補佐）	<p>地方創生先行型交付金活用事業の評価につきまして、資料5と資料6に基づきまして、事務局より御説明させていただきます。資料6は4つの事業についての自己評価票となります。美里町では地方創生法に基づいた先行型交付金を活用した事業として4つの事業を実施いたしました。本日は事業担当課の課長が出席しておりますので、資料について補足事項等があれば、各課長から説明させていただきたいと思えます。</p> <p>はじめに「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業」につきましては、企画財政課が担当した事業となります。事業について補足する部分があれば一言お願いします。</p>
企画財政課長（佐々木）	【「美里町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業」の概要等について説明】
まちづくり推進課長（高橋）	【「美里町定住促進奨励事業」の概要等について説明】
健康福祉課長（青木）	【「美里町不妊治療費助成事業」の概要等について説明】
産業振興課長（佐藤）	【「農産物産地形成促進事業」の概要等について説明】
事務局（小野 課長 補佐）	<p>地方創生先行型交付金活用事業について、各担当課長から概要等について説明がありました。この4事業についての評価の分担と、今後の評価についてどのように実施していくか等について、資料5の7ページと8ページに基づいて事務局より御説明いたします。</p>
事務局（尾形係長）	【資料5 7ページ、8ページについて説明】
徳永会長	<p>ただ今、事務局から説明があったとおり、先行型交付金活用事業の評価につきましてはスケジュール的に急ぐ必要があるようです。具体的な評価については、個別に評価いただくこととなりますが、担当、スケジュールについて御質問等あればお願いいたします。</p> <p>必ずしも各先生の専門分野であるという訳ではありませんが、比較的近い分野ではないかと感じているところです。次の全体会議は、個別の評価ではなく、全体的に</p>

	<p>トーンを合わせるとかそのような作業になるのではないかと思います。</p> <p>25日に全体会を予定しているということで、先生方全員集まれるかということもあると思います。</p>
事務局 (佐々木課長)	<p>こちらといたしましては、あくまで目安ということで25日とさせていただいておりますので、次の議題「(4)次回の会議開催について」の中で調整いただきたいと思いますと考えております。</p>
徳永会長	<p>次回の日程については、次の議題で調整ということですが、今後の進め方についてはよろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>それでは「(4)次回の会議開催について」説明をお願いします。</p>
事務局(尾形係長)	<p>次回の会議は、地方創生先行型交付金活用事業の評価となりますので、分野ごとに開催する個別の会議となりますので、本日の会議終了後に少しお時間を頂戴いたしまして、各事業担当課長と日程調整をお願いいたします。</p> <p>次回の全体会の開催日ですが、スケジュール表に25日と記載しておりますが、こちらは仮日程となっております。県への報告期限が29日となっておりますことも御配慮いただきたいと思いますと思います。</p>
各委員	<p>【次回の全体会日程について協議】</p>
徳永会長	<p>それでは、次回の全体会は7月26日(火)午前9時から1時間程度ということをお願いいたします。個別の会議については、会議終了後に担当課長と御相談いただきたいと思いますと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>【はいの声】</p> <p>続いて「(5)その他」について、事務局ありますか。</p>
事務局(尾形係長)	<p>地方創生先行型交付金活用事業の自己評価票について、本日紙ベースでお渡ししておりますが、メールにて電子データ形式で委員皆様にお送りいたします。また、重点等施策の政策評価で使用するKPI達成状況一覧、進行管理調書等につきましては、現在各課へ作成依頼中ですので、各課から提出され次第、メールにて送信させていただきますので、よろしくをお願いいたします。</p>
徳永会長	<p>長時間にわたり、大変お疲れ様でした。本日の会議は以上で終了となります。ありがとうございました。</p>
事務局(佐々木課長)	<p>先ほどもお話しさせていただきましたが、次回の個別会議につきましては、この後に各担当課長と協議いただき日程を調整いただきたいと思いますと思います。</p> <p>本日の会議の報酬、費用弁償につきましては、宮城大学さんの御厚意により、校内で開催させていただきましたので、費用弁償は発生しませんが、報酬につきましては、御指定いただいた口座に7月中に振り込みさせていただきます。報酬額につきましては、会長が11,100円、委員が10,800円となっております。</p> <p>以上をもちまして、平成28年度第1回美里町政策推進・評価委員会を終了いたし</p>

	ます。 大変ありがとうございました。
--	-----------------------

【午後 4 時 3 0 分】 閉会

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成 2 8 年 7 月 2 6 日

会議録署名人 _____